

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工に関する研究小委員会	主 査 名：名和豊春 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (RC 工事運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：阿部道彦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2009 年度版 JASS 5 で規定された乾燥収縮率 <math>8 \times 10^{-4}</math> 以下の目標を実現するための技術の現状を取り纏める。</li> <li>・ 2009～2010 年度：膨張材・収縮低減剤の材料特性、調合方法、養生などの施工条件が収縮ひび割れに及ぼす影響に関する技術の現状を調査・整理する。</li> <li>・ 2011 年度～2012 年度：「収縮低減材料を用いたコンクリートの技術の現状」を取り纏め、講習会を企画する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 名和豊春 (北大)、井ノ川尚 (住友大阪セメント)、閑田徹志 (鹿島)、木之下光男 (竹本油脂)、黒岩秀介 (大成)、菅俣 匠 (BASF ポゾリス)、栖原健太郎 (電化)、棚野博之 (国総研)、谷村 充 (太平洋セメント)、檀 康弘 (新日鐵高炉)、玉石竜介 (花王)、西田 朗 (清水)、野口貴文 (東大)、兼松 学 (東理大)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無機系混和材料 WG：収縮低減性混和材の技術の現状を調査し取り纏める。</li> <li>・ 有機系混和材料 WG：収縮低減性混和剤の技術の現状を調査し取り纏める。</li> </ul>	
2012 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	研究小委員会 2 回 (年度内計画を含む), WG (無機: 4 回, 有機: 6 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 収縮低減材料を用いたコンクリートに係る技術の現状を取り纏めた。 2. 上記の原稿に対する RC 工事運営委員会及び材料施工委員会の査読結果を反映して、出版原稿を作成した。 3. 上記に係る講習会を 2013 年 7 月に企画した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 上記の技術の現状に基づいて「収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工指針」を平成 28 年度までに完成する。